平成31年・令和元年度

首里城公園事業年報

第１号



BUSINESS AN ANYE YEARLY REPORT OF SHURIJO CASTLE PARK

№1 April 2019—March 2020

表紙写真　在りし日の首里城正殿（2019 年 2 月撮影）

漆の塗り直し完了後から 1 年以上が経過した正殿の写真。正殿は琉球王国最大の木造建築物で、首里城のなかでも王権を象徴する中心的な建物である。中国や日本の建築様式の影響を受けながら、装飾化した龍柱や正面のハの字型階段など琉球独自の形式を持つ。写真の正殿は、1712 年に建立され数度の大修理を経ながら戦前まで存続した建物の再現を目指して 1992 年に復元された。

裏表紙写真　守礼門

守礼門は、1527～55 年に創建された。当初の名称は「侍賢門」、後に「首里門」となり、冊封使来琉時だけ「守礼之邦」の扁額を掲げていたものが 17 世紀半ばごろ、常設となった。それに伴い門の名称も「守礼門」となった。1933 年に国宝指定されたが沖縄戦で焼失。現在の門は 1958 年、琉球政府時代に復元されたもの。2,000 円札の絵柄にもなっている。

目　次

Ⅰ 名称・所在地・営業資料……3

Ⅱ 沿革……3

Ⅲ 管理・運営……5

（１）組織……5

（２）入場者数……6

（３）取材等報道一覧……6

（４）主な管理施設……6

Ⅳ 事業報告……7

（１）普及啓発活動……7

（２）調査研究活動……14

（３）展示紹介・その他企画展等……16

（４）地域連携事業……19

（５）首里城公園友の会事業……21

（６）誘客促進……25

（７）行催事……26

Ⅰ　名称・所在地・営業資料

名称　　首里城公園　〔沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）〕

設置者：内閣府　沖縄総合事務局
管理許可者：沖縄県
指定管理者：一般財団法人沖縄美ら島財団

所在地　〒903-0812　沖縄県那覇市首里当蔵町３丁目
電話：098-886-2020　　FAX：098-886-2022
HP：https://oki-park.jp/shurijo/

開場時間

時期	開園時間（無料区域）	開場時間（有料区域）	首里杜館駐車場
４～６月	8:00～19:30	8:30～19:00 入場券販売締切	8:00～20:00
７～９月	8:00～20:30	8:30～20:00 入場券販売締切	8:00～21:00
10～11 月	8:00～19：30	8:30～19:00 入場券販売締切	8:00～20:00
12～３月	8:00～18：30	休場	8:00～19:00

※10 月 31 日～12 月 11 日まで国営公園区域（無料区域）及び県国営区域（有料区域）臨時休園・休場

※12 月 12 日より国営公園区域の一部を開園

入場料金

	大　人	中 人（高校生）	小人（小・中学生）
一般料金	820 円	620 円	310 円
団体料金	660 円	490 円	250 円
年間パスポート	1,640 円	1,240 円	620 円

※団体は 20 名様以上

※モノレール（ゆいレール）のフリー乗車券（一日券・二日券）をご利用中のお客様は首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により団体料金の適用

※8 月 19～25 日の時期、県民 6 歳以上より 70 歳未満を対象に「沖縄県民割」（大人 820 円→660 円、中人 620 円→490 円、小人 310 円→250 円）を実施。

Ⅱ沿革

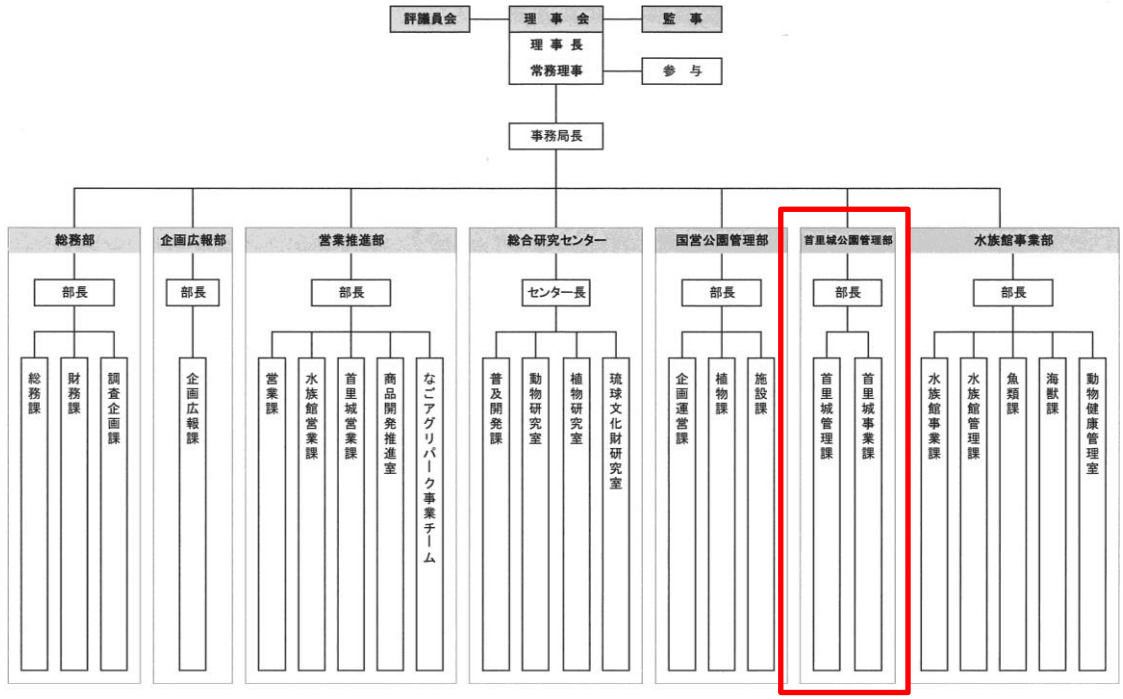
昭和 59 年　　沖縄県により「首里城公園基本計画」策定

昭和 61 年		「国営沖縄記念公園首里城地区」として首里城跡地内 4ha を整備することが閣議決定
		沖縄総合事務局により「国営沖縄記念公園首里城地区基本計画」が策定
		国営公園の予定地の周辺を県営公園とすることを庁議決定
		首里城公園（17.8ha）が都市計画決定
昭和 62 年		首里城公園内の国営公園部分が都市計画事業承認される
		首里城公園内の県営公園部分が都市計画事業認可される。
		沖縄県により「首里城公園基本設計」が策定
平成元年		首里城正殿建築工事の起工式及び木曳式を実施
		首里城正殿、復元工事に着手。南殿・番所、北殿、奉神門等も復元工事に着手
平成 4 年		首里城正殿建築工事、石積設置工事等が竣工する
平成 4 年	11 月 3 日	首里城公園一部開園
平成 7 年	3 月 15 日	入園者 500 万人達成
平成 9 年	12 月 24 日	入園者 1,000 万人達成
平成 12 年	6 月 2 日	入園者 1,500 万人達成
	7 月 22 日	九州・沖縄サミットの夕食会が首里城で行われる
	12 月 2 日	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に園比屋武御嶽石門、首里城跡が世界遺産として登録
平成 14 年	11 月 1 日	入園者 2,000 万人達成
平成 15 年	10 月 4 日	京の内供用
平成 18 年	10 月 26 日	入園者 3,000 万人達成
平成 19 年	1 月 27 日	書院・鎖之間供用
平成 20 年	8 月 1 日	書院・鎖之間庭園供用
平成 21 年	7 月 23 日	書院・鎖之間庭園、名勝に指定
平成 22 年	4 月 1 日	淑順門供用
	12 月 5 日	入園者 4,000 万人達成
平成 26 年	1 月 24 日	黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院供用
	4 月 1 日	奥書院庭園供用
平成 27 年	4 月 25 日	入園者 5,000 万人達成
平成 28 年	3 月 28 日	銭蔵跡、厩、係員詰所跡供用
平成 29 年	3 月 31 日	北城郭園路広場供用
平成 30 年	12 月 16 日	入園者 6,000 万人達成
平成 31 年	2 月 1 日	国営沖縄記念公園首里城地区全エリア開園 東のアザナ・白銀門・二階御殿供用 世誇殿、女官居室、後之御庭、美福門供用
令和 元年	10 月 31 日	首里城正殿を含む建物８棟が焼損

Ⅲ　管理・運営

（１）組織

一般財団法人　沖縄美ら島財団　組織図
並びに　沖縄美ら島財団　首里城公園管理部　首里城管理課・首里城事業課
業務分掌



首里城管理課	首里城事業課
首里城公園における庶務・経理、入場券販売、利用サービス	首里城公園における企画立案、行催事・広報、調査研究、普及啓発、首里城基金、首里城公園友の会、首里城公園における建物・工作物の維持管理及び修繕、植物管理、清浄

令和２年３月 31 日現在

（２）入場者数

月	有料	無料	合計
4	160,199	13,849	174,048
5	156,619	15,795	172,414
6	122,622	9,871	132,493
7	122,648	9,746	132,394
8	148,837	10,977	159,814
9	105,118	7,767	112,885

月	有料	無料	合計
10	154,425	12,965	167,390
11	0	0	0
12	0	0	0
1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
計	970,468	80,970	1,051,438

9/21　台風17号のため終日休場
10/31～3/31　火災後の調査･準備対応等のため有料区域休場

（３）取材等報道一覧

カテゴリー	テレビ（全国）	テレビ（地方）	新聞（全国）	新聞（地方）	ラジオ	Web
展示	1	7	1	7	2	0
普及啓発	0	0	0	0	0	3
調査研究	0	0	0	0	0	0
イベント	0	16	2	16	0	1

（４）主な管理施設

区域		施設名
無料区域	城郭外	首里杜館・守礼門・園比屋武御嶽石門 円覚寺・弁財天堂・龍潭・中城御殿跡
	城郭内	歓会門・久慶門・瑞泉門・漏刻門・広福門 首里森御嶽・系図座用持座・奉神門 右掖門・淑順門・継世門・美福門 銭蔵・木曳門
有料区域（焼失建造物含む）		正殿・南殿 番所・北殿・書院鎖之間 書院鎖之間庭園・近習詰所・奥書院 黄金御殿・寄満・女官居室・世誇殿

Ⅳ　事業報告

（１）普及啓発活動

郷土歴史文化学習事業

目的

郷土の歴史や文化の普及・啓発を図るため沖縄県内の小・中学生及びその引率教諭を対象に、首里城公園内の有料施設に無料で入館できる郷土歴史文化学習事業を実施している。

来園後にはその学習結果報告として児童・生徒の作文、図画、新聞等を提出していただき、それらを展示し紹介することで首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、県民の首里城公園の利用促進を図り誘客につなげることを目的とする。

概要

平成 31 年度・令和元年度は小学校 57 校 3, 270 名、中学校 4 校 427 名、その他団体 1 件 40 名が郷土歴史文化学習事業の制度を利用し首里城公園へ来園し、琉球及び首里城の歴史文化について学んだ。なお、火災の影響により、12 月以降、郷土歴史文化学習事業は、無料区域のみの対応とした。

	小学校		中学校		その他（学童等）		合計	
	校数	人数	校数	人数	件数	人数	校数・件数	人数
4 月	5	660	2	95	0	0	7	755
5 月	15	1,070	0	0	0	0	15	1,070
6 月	14	484	1	174	0	0	15	658
7 月	1	41	0	0	0	0	1	41
8 月	0	0	1	158	0	0	1	158
9 月	3	154	0	0	0	0	3	154
10 月	13	678	0	0	0	0	13	678
11 月	0	0	0	0	0	0	0	0
12 月	2	52	0	0	1	40	3	92
1 月	3	117	0	0	0	0	3	117
2 月	1	14	0	0	0	0	1	14
3 月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	57	3,270	4	427	1	40	62	3,737

※有料区域：10 月 31 日～3 月 31 日休場。無料区域：10 月 31 日から 12 月 11 日まで休園。

首里城出張講座

目的

郷土歴史文化学習事業で来園を予定している小・中学校、または依頼のある高校などを対象に、学芸員による首里城についての出張講座を実施し、郷土の歴史文化の普及・啓発と首里城公園の利用促進を図る。

概要

郷土歴史文化学習事業の事前学習として、琉球王国及び首里城の歴史概説や現在の首里城公園の見どころ、また希望に応じて学校の所在する地域と首里城の関連などの歴史解説を行った。実施日・実施場所・参加人数・派遣職員等については以下の通り。

- 令和元年 10 月 7 日（月）　豊見城市豊見城小学校
  参加者数：104 名（6 年生)、教員 4 名
  派遣職員：輝　広志（首里城事業課広報企画展示係）

- 令和元年 10 月 17 日（木）　国頭村立奥間小学校
  参加者数：17 名（6 年生）　教員 4 名
  派遣職員：比嘉　明子・銘苅あやの（首里城事業課広報企画展示係）

- 令和元年 10 月 24 日（木）　八重瀬町立白川小学校
  参加者数：136 名（4 年生)、教員 4 名
  派遣職員：比嘉　明子・銘苅あやの（首里城事業課広報企画展示係）

- 令和元年 10 月 30 日（水）　うるま市立高江洲小学校
  参加者数：93 名（4 年生)、教員 3 名
  派遣職員：比嘉　明子・友利優太（首里城事業課広報企画展示係）



首里城出張講座の実施風景
（うるま市立高江洲小学校）

日影台（日時計）解説会

目的

首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、首里城公園の利用促進や誘客を目的として、学芸員による日影台（日時計）の解説会を実施する。

実施日時および場所

《実施日時》

①令和元年 6 月 22 日(土・夏至)、23 日(日)※1 回目は雨天により中止、
12：00～13：00、14：00～15：00

②令和元年 9 月 22 日(日)、23 日（月・秋分の日）※9/21 は台風により中止
12：30～13：00、14：30～15：00

※冬至（12 月）は火災のため中止、春分（3 月）はコロナウィルス感染症感染拡大防止のため中止

《実施場所》　首里城公園内　日影台

概要

琉球王国時代に使用された日影台は、往時、時刻盤の傾斜角度を二十四節季ごとに変えていたが、現在は春分・夏至・秋分・冬至の４回変えている。

令和元年度は、夏至とその翌日日曜日、秋分の日と翌日の月曜日に解説会を実施し、総計名（秋分：303 名+秋分：345 名）が解説会に参加した。

天気があまりよくなく太陽が出ない時間帯もあったため、解説書と自作できる日影台のワークシートを配布し、日影台の見学を行った。

12 時の回に加え、未の刻（14 時）の回も設定し、1 日 2 回開催した。

【令和 2 年度 日影台（日時計）解説会 参加者数】

実施日		曜日	12:00-13:00	14:00-15:00	小計	合計
令和元年	6 月 22 日	土	71	101	172	303
（夏至）	23 日	日	－	131	131	
令和元年	9 月 22 日	日	85	83	168	345
（秋分）	23 日	月	68	109	177	
					総計	648

首里城講座

目的

本講座を通じて、首里城に関する歴史・文化を主に県民に向けて普及啓発し、首里城公園の利用促進と満足度向上を目的とする。

実施期間・時間および実施場所

《期間》　第１期：令和元年７月５日（金）・12 日（金）・19 日（金）
　　第２期：令和元年８月２日（金）・９日（金）・16 日（金）
　　第３期：令和２年２月７日（金）・14 日（金）・21 日（金）・
　　28 日（金）
《時間》　17：00～18：30
《場所》　第１・２期：首里城公園　世誇殿（有料区域内）
　　第３期　　：首里城公園　首里杜館　情報展示室

概要

第１・２期は首里城南殿・黄金御殿展示室及び沖縄県立博物館・美術館で連携開催した『THE　KUMIODORI300　組踊展』に関連するテーマの講座を世誇殿で６回開催した。

第３期は、「復元美術への招待」と題し、（一財）沖縄美ら島財団で取り組んでいる琉球王国時代の美術工芸品の復元に関する事業についての講座を首里杜館情報展示室で４回行った。

【第１期】『THE　KUMIODORI300　組踊展』

・第１回「『THE　KUMIODORI300』を 300 倍楽しんで鑑賞する方法～誰も言わなかった組踊の歴史～」

講師：上江洲　安亨（首里城事業課　副参事）

展覧会と連動し、組踊の代表的な演目『二童敵討』と『執心鐘入』について、舞台衣裳や道具の背景、『執心鐘入』のモデルとなった『道成寺縁起』との比較等、歴史的な側面を含む組踊についての解説を行った。

〔参加者数：29 名（定員 30 名、申込者 31 名）〕

・第２回「名優たちの芸風」

講師：眞境名　正憲（伝統組踊保存会会長）

伝統組踊保存会会長の眞境名正憲氏を講師に迎え、戦後組踊の研究会を発足させ組踊の伝統を後世に伝えていくために尽力したことや伝承の功労者である

名優たちの人間味溢れるエピソード等について紹介があった。
〔参加者数：26 名（定員 30 名、申込者 27 名)〕

・第３回「『書』と琉・日・中交流にまつわるえとせとら～企画展『THE KUMIODORI300』の展示資料とその周辺～」
講師：輝　広志（首里城事業課　調査展示係）
展覧会に即し、組踊が生まれてきた背景や「書」についてそれを記した楽童子や冊封使の人となりや「書」を通してみえてくる江戸や琉球での交流の様子等について解説を行った。
〔参加者数：27 名（定員 30 名、申込者 26 名)〕

【第 2 期】『THE　KUMIODORI300　組踊展』
・第１回「冊封使へのおもてなし～冊封七宴・弁ケ嶽遊覧等の歓待～」
講師：上江洲　安亨（首里城事業課　副参事）
組踊が演じられた歴史的背景や冊封七宴でのおもてなしの内容、冊封使と琉球人との交流等、展示品の紹介を交えながら解説した。
〔参加者数：47 名（定員 30 名、申込者 54 名)〕

・第２回「村の組踊と名優たちの功績～おきみゅー会場の展示を通して～」
講師：仲宗根　あい（琉球文化財研究室主事）
組踊が今日まで継承されてきている経緯や首里周辺から沖縄全土に広まったこと、名優たちの功績について、展示資料の紹介や調査時のエピソードを交えて紹介した。
〔参加者数：29 名（定員 30 名、申込者 44 名)〕

・第３回「琉球王国の舞台と花火―甦る 300 年の伝統―」
講師：茂木　仁史（国立劇場おきなわ運営財団調査養成課長）
組踊に影響をあたえた能が演目だけでなく舞台そのものの造りが反映されていることや琉球王国時代の絵図に表された仕掛花火について、調査研究で明らかになったことを示し、10 月に仕掛花火を再現することも紹介した。
〔参加者数：30 名（定員 30 名、申込者 40 名)〕

【第 3 期】「復元美術への招待」
・第１回「復元美術への招待～美術工芸品の復元事業の紹介～」
講師：上江洲　安亨（首里城事業課　副参事）
琉球王国時代に制作された美術工芸品の復元を行う経緯や意義、修復や復元

の過程でこそできる調査研究の重要性等、また次世代へ技術を継承する人材育成になっていることも紹介した。
〔参加者数：33 名（定員 30 名、申込者 40 名)〕

・第２回「本物の朱塗りを目指して」
講師：諸見　由則（県指定無形文化財保持者（琉球漆器)）
首里城を復元した際の塗装や琉球王国時代の漆器の復元にも携わった諸見氏を講師に迎え、それらの作業の中で使われた道具や作業工程を示した手板等を提示しながら、漆の特性や復元を行うことについて講義を行った。
〔参加者数：25 名（定員 30 名、申込者 31 名)〕

・第３回「御後絵の復元について」
講師：輝　広志（首里城事業課 調査展示係）
御後絵とはなにか、なぜ御後絵を復元するのか等について説明し、彩色復元を行うにあたって調査分析したことを中心に解説した。
〔参加者数：19 名（定員 30 名、申込者 36 名)〕

・第４回「琉球沈金の復元について」
講師：當眞　茂（沖縄県立芸術大学准教授）
首里城を復元した際の塗装や琉球王国時代の祭祀道具の復元等に関わってきた沖縄県立芸術大学の當眞茂氏を講師に迎え、復元製作にあたって道具の復元から取り組んできたことや琉球王国時代にどのように漆器がつくられていたのかについて等の話があった。
〔参加者数：21 名（定員 30 名、申込者 40 名)〕


第１期・第１回


第２期・第２回


第２期・第３回


第３期・第４回

首里城解説会

目的

火災後に、首里城や琉球王国の概要を伝えると共に、来場した方へ火災前の画像での紹介も行い、首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を目的として開催した。

概要

火災後、首里城内の定時案内に代わり首里杜館情報展示室にて、パワーポイントで作成したものをスクリーンに投影し、琉球王国の歴史文化や首里城についての概要を説明する解説会を1日4回開催した。12月から2月まで行ったが、3月以降はコロナウィルス感染症感染拡大防止のため休止した。

期　間：令和元年12月6日～令和2年2月28日
時　間：①9：30　②11：00　③13：00　④15：00

	9：30	11：00	13：00	15：00	計
12月	289	383	341	366	1,379
1月	295	444	513	435	1,687
2月	289	320	232	214	1,055
	873	1,147	1,086	1,015	4,121



首里城解説会風景



首里城解説会風景

（２）調査研究活動

尚穆王御後絵表装具製作業務

輝　広志[1]

１．はじめに

本業務は、昨年度完成した尚穆王（第 14 代琉球国王）の御後絵の本体にあたる本紙について、御後絵の保存管理および安定的な展示を行うことを目的に、表装具の製作を行うものである。

琉球国王の死後に描かれる国王肖像画の御後絵は、戦前に撮影されたモノクロ写真が残されるのみで、実物資料は沖縄戦で焼失している。そのため様々な調査研究を通じて知見を集積し、その知見に基づいて製作された原寸大の御後絵（彩色模写復元）は琉球絵画の歴史を考える上でも重要な資料である。

本業務においては、戦前のモノクロ写真に写り込んだ表具裂から図案の書き起こしや文様の検討を行った。

２．概要

（１）製作概要

過年度に製作した「尚穆王御後絵（彩色模写復元)」（以下、「模写復元」と略記）の表装具の製作にあたり、鎌倉芳太郎が戦前に撮影したモノクロ写真を参考にした。尚灝王御後絵の際には確認できなかった表具裂が、尚穆や尚育王の御後絵については写真に写り込んでおり、裂の文様が確認できた。

鎌倉芳太郎撮影の写真に基づいて図案を起こし、総縁に用いる表具裂を復元すべく、紺地瑞雲蝙蝠文の金襴を試作した（【写真１】）。



【写真１】
紺地瑞雲蝙蝠文金襴（試作）

[1] 一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 首里城事業課 調査展示係

そのほか検討・調整の上、一文字や中廻しの裂に金襴を用いることとした（【写真２】）。



【写真２】モノクロ写真からの拡大と書き起こし図案

（２）本紙完成品（【写真３】）の製作者・完了年月日・法量



【写真３】尚穆王御後絵（彩色模写複製）
本紙　完成品

製　作　者：有限会社　墨仙堂
完了年月日：令和２（2020）年３月 23 日
法　　量：
〔本紙（表出）〕
丈 153.6 ㎝×幅 153.0 ㎝
〔本紙（全部）〕
丈 162.0 ㎝×幅 162.1 ㎝
〔表　　装〕
丈 259.7 ㎝×幅 173.5 ㎝

（3）展示紹介・その他企画展等

企画展・その他

1．企画展

①「王家の秘宝展」

会　　期：4/12（金）～7/2（火）

会　　場：黄金御殿特別展示室

展示内容：首里城は、グスクとしての軍事的な機能や、行政府としての機能だけでなく、琉球国王が居住する宮殿としての機能もあった。特に黄金御殿は、往時の国王と王妃の居室である空間であった。今回の企画展では、王家伝来または、それに相当する逸品を紹介しながら琉球国王庇護のもと発展していった絵画・美術工芸品の解説を行った。特に目玉展示として、尚家伝来と言われる孫億の花鳥図三幅を初公開した。企画展内容の理解を深めるため展覧会図録の出版刊行も行った。





展示風景



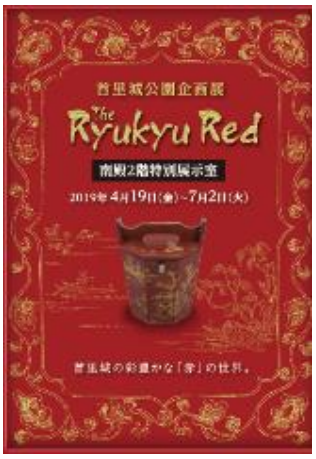
展示チラシ

②「The　Ryukyu　Red」展

会　　期：4/19（金）～7/2（火）

会　　場：南殿二階特別展示室

展示内容：赤色は、先史時代より現代まで世界各地で魔除けや祝いの色彩として祭祀儀礼など様々な場面で使われた色である。本企画展では、琉球王国時代、赤色を使った美術・工芸品を紹介するにあたり、赤色に使われた色材（顔料）ごとにコーナーを分けて解説を行った。また首里城正殿を含めた御庭の建造物・各門櫓も弁柄や朱の彩色を行っているため、首里城公園内の彩色建造物との連携を紹介した。企画展内容の理解を深めるため展覧会図録の出版刊行も行った。



展示チラシ





展示風景

③「THE KUMIODORI 300　～組踊の歴史と拡がり～」展

会　　期：7/5（金）～11/14（木）※当初予定期間（10/31 以降は火災により中止）

会　　場：（１）7/5（金）～11/7（木）　首里城公園　南殿二階特別展示室

（２）7/5（金）～11/14（木）　首里城公園　黄金御殿特別展示室

（３）7/11（木）～8/25（日）　沖縄県立博物館・美術館　企画展示室

展示内容：組踊は 1719 年、首里城・重陽の宴にて冊封使一行の前で初めて上演された。その後琉球王国の総合舞台芸術として継承され、現在ではユネスコ世界無形文化遺産となっている。2019 年は上演 300 年の節目となり、今後の発展・継承の在り方を含めて注目が集まっている。この時期に組踊 300 年の歴史を振り返り、普及啓発を行うことを目的として記念特別展を行った。また、会場を首里城公園南殿・黄金御殿をメインとしながら沖縄県立博物館・美術館会場も連携して行った。企画展内容の理解を深めるため、首里城会場・県博会場を含めた展覧会図録の出版刊行も行った。

（１）首里城公園　南殿特別展示室　　「組踊誕生の背景」

組踊で使用される舞台衣裳は、当時の武将や王族・士族が使う衣服や道具の影響を受けている。南殿では舞台衣裳や小道具に影響を与えた琉球王国時代の衣裳や美術工芸品等を展示。

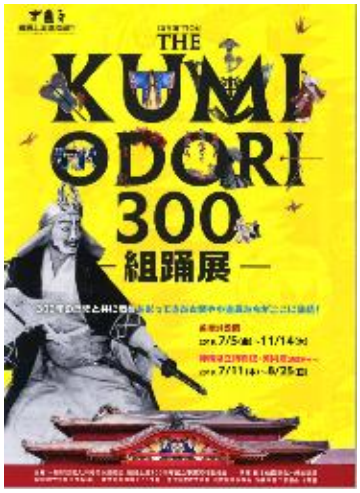
（２）首里城公園　黄金御殿特別展示室　　「組踊を観劇した冊封使たち」

組踊を観劇した冊封使の人となりや、琉球国王との書を通した心の交流を紹介。また往時、客人の接待に使った酒器や東道盆等を展示。

（３）沖縄県立博物館・美術館会場　　「組踊　近現代の拡がりと発展」

琉球処分が近づくにつれ、組踊演者だった士族は各地で公演を行うようになり、多くの人々が鑑賞を楽しむ時代へと移行する。県博会場では近現代の名優が製作・使用した踊衣裳や、戦前の舞台道具、写真、県内各地に拡がった地域の踊衣裳等を展示公開し、近現代の組踊の歴史的発展を紹介。

また 2019 年は、NHK「沖縄の歌と踊り」が放送 50 周年を迎えることから、沖縄放送局とタイアップし、展示室にて上映。



展示チラシ



南殿二階特別展示室



黄金御殿特別展示室



沖縄県立博物館・美術館

【連携・協力】

・岡崎市美術博物館（愛知県）「琉球の美」展（会期：6/1～7/15・会場：岡崎市美術博物館）へ『黒漆花鳥密陀絵箔絵食籠』ほかの貸出、図録解説原稿の執筆と講演会へ学芸員の派遣を行った。

・渋谷区立松濤美術館（東京都）「美ら島からの染と織―色と文様のマジック」展（会期：8/10～9/23・会場：渋谷区立松濤美術館）へ『紬黄色地ムルドゥッチリ袷衣裳（琉装）』ほか貸出、図録解説原稿の執筆とギャラリートークへの学芸員の派遣を実施した。

・浦添市美術館「漆芸家シリーズ 2019　諸見由則展」（会期：11/1～11/17・会場：浦添市美術館）へ『三御飾道具　御籠飯（復元）』ほかの貸出を行った。

・那覇市歴史博物館企画展「琉球線と首里・那覇を描いた絵画史料」（会期：11/1～12/25・会場：那覇市歴史博物館）へ『那覇港図』（屏風・複製）ほかの貸出を行った。

・沖縄県立博物館・美術館企画展「グスク展」（会期：11/19～1/19・会場：沖縄県立博物館・美術館）へ 12 月 1 日から解説員を派遣し、首里城に関する展示解説及び首里城ガイド（解説会）を行った。

（4）地域連携事業

フラワーロード事業

目的

都市公園及び都市公園の周辺地域に対する県民の意識の高揚と利活用の効果を高めるため、住民参加による都市公園等の愛護活動を実施する。

実施期間・時間および実施場所

《期間》　令和元年 10 月 20 日（日）
《時間》　9:00～11:00
《場所》　首里城公園内　ハンタン山及び龍潭園路周辺
《連携団体》首里地域住民の方、近隣の地域団体・企業　（参加者：約 60 名）

概要

10 月の沖縄都市緑化月間　都市公園等愛護活動の一環として、首里城公園内のハンタン山及び龍潭園路周辺の清掃美化作業、プランターへの草花植付け作業を実施した。作業開始前に主な作業内容の説明を行い、怪我のないよう安全に注意して作業を行うよう参加者に周知した。清掃作業として、園路の清掃作業や石積み除草、植栽地内の雑草草刈り等を実施した。また、プランターの草花植付け作業では、ベゴニアとインパチェンス、ビオラの 3 種類準備した。植付け後には、龍潭通り（県道）をフラワーロードとして植付けたプランターで飾ることにより沿道の景観向上を図った。参加者には、総合研究センター（植物研究室）より提供していただいたハイビスカスやヤブツバキの苗を配布した。

この活動を通して、参加者に都市公園愛護への意識高揚を図ることができた。

今回は清掃美化作業の後に、城西小学校区まちづくり協議会によるイベントを計画していただくなどの連携を行った。


園路周辺の落葉清掃


プランター植付


苗木の配布

首里城への美御水（ヌービー）の奉納

目的

かつて首里城へ献上され、国王の年始清め儀式「お水撫で(ｳﾋﾞﾅﾃﾞｰ)」などに使われたのが、国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」で汲まれた水である。そして、首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」は、平成 10 年に 120 年の時を超え復活した。

本行事は、地元首里の方々と共に琉球文化の心と想いを伝え、来る年の人々の健康と多幸を願い、首里城及び地域の平和と発展推進を祈念し、更に次世代への固有文化継承を目的としている。

実施期間・時間および実施場所

《期間》　令和元年 12 月 22 日（日）
《時間》　15:00～15:30
《場所》　旧円覚寺総門前
《連携団体》首里当蔵町自治会　辺戸区お水取り有志の会

概要

首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」と「円覚寺奉納」が行われた。

首里城公園内では、旧円覚寺総門前において、「奉納の儀」が実施された。

園内における来園者誘導整理の安全管理及びマスコミ対応を公園スタッフによる協力で行った。今回は簡素かされての実施ではあったが、一般来園者などでも撮影する様子も見られ、テレビ 3 社及び新聞２社による取材もあり、関心の高さが伺えた。





令和元年度 首里城への美御水（ヌービー）の奉納風景

（５）首里城公園友の会事業

首里城公園友の会事業報告

首里城公園友の会では、沖縄の歴史や文化の普及に関する講演会、見学会など、専門の講師を招聘し、年間を通して開催している。首里城公園を拠点に沖縄美ら島財団と連携し、首里城公園への来園促進を促し、地域に根ざした普及啓発活動を行った。

１．首里城見学会

1. 神秘のレールに包まれた夜の御内原(うーちばら)を歩く
   講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）/平良啓氏（(株)国建）
   開催日：9 月 29 日（日）　参加者：20 名
2. 静かな夜に、首里城の城門の魅力を味わってみませんか
   講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）/平良啓氏（(株)国建）
   開催日：10 月 6 日（日）　参加者：20 名

２．首里城周辺めぐり

1. ゆいレールに乗って朝薫の生誕地と墓を巡る
   開催日：2 月 15 日（土）　参加者：20 名　講師：喜納大作氏（首里城公園友の会）
2. 首里城への道（神女たちの祭祀をつうじて）
   開催日：2 月 16 日（日）　参加者：20 名　講師：新里涼子氏（(株）国建）
3. ゆいレールに乗って朝薫の生誕地と墓を巡る
   開催日：3 月 20 日（金・祝）　参加者：19 名　講師：喜納大作氏（首里城公園友の会）
4. 百人御物参と関連御嶽
   開催日：3 月 29 日（日）　参加者：14 名　講師：新里涼子氏（(株）国建）

３．那覇めぐり及び地域めぐり

1. 「識名園」（世界遺産）見学会
   開催日：1 月 11 日（土）　参加者：29 名　講師：鈴木悠氏（那覇市文化財課）

４．史跡巡見

1. 勝連城跡（世界遺産）と与勝半島“島”めぐり
   開催日：12 月 8 日（日）　参加者：25 名　講師：恩河尚氏（沖縄市総務部）
2. 斎場御嶽（世界遺産）と南部の文化施設めぐり
   開催日：12 月 22 日（日）　参加者：23 名　講師：大城秀子氏（沖縄国際大学南島文化研究室特別研究員）
3. 護佐丸の跡を訪ねる－古琉球の英雄、護佐丸の子孫たちの歴史に触れてみませんか！
   開催日：3 月 28 日（土）　参加者：19 名　講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）

５．県内離島巡見

1. 多良間島巡見 2 日
   開催日：3 月 26 日（土）～27 日（日）　参加者：14 名　講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）

６．文化講演会

1. 「琉歌に歌われた自然」
   開催日：6 月 15 日（土）　参加者：130 名　講師：前城淳子氏（琉球大学）
2. 首里城復元 30 年、そして再建へ
   開催日：12 月 21 日（土）　参加者：120 名　講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）

７．親子体験教室漆（沈金）のコースター作り！

開催日：7 月 28 日（日）　参加者：39 名　講師：前田貴子氏（うるし作家）

８．イヌマキ育樹祭

1. 開催日：7 月 27 日（土）　参加者：104 名
2. 開催日：2 月 1 日（土）　参加者：175 名

９．首里城研究会

第 149 回　開催日：5 月 11 日（土）　参加者：20 名
発表者：上江洲安亨氏／沖縄県立博物館・美術館 受託業務「琉球王国文化遺産集積・再興事業」報告

第 150 回　開催日：7 月 20 日（土）　参加者：19 名
「首里城研究」21 号合評会
第 151 回　開催日：12 月 14 日（土）　参加者：21 名
発表者：上里隆史氏／古琉球期における首里城の様相と変遷
第 152 回　開催日：1 月 25 日（土）　参加者：9 名
発表者：森達也氏／近年の中国・台湾における琉球と関連する考古学調査事例
第 153 回　開催日：3 月 14 日（土）　参加者：21 名
発表者：安里進氏・黒嶋敏氏／近寛永期の琉球国絵図について

10.「首里城研究」（学術誌）の発行

「首里城研究」 No.22　発行日：3 月 31 日（発行部数：400 部）

11. 友の会会報の発行

第 108 号　発行日：6 月 30 日
第 109 号　発行日：9 月 30 日
第 110 号　発行日：1 月 10 日
第 111 号　発行日：3 月 31 日

12. 定期総会

開催日：6 月 15 日（土）　参加者：130 名

13. 常任理事会・理事会

開催日：6 月 5 日（水）　参加者：15 名

14. 運営委員会

第 1 回　開催日：4 月 30 日（火）　参加者：6 名
令和元年度友の会定期総会に向けて他
第 2 回　開催日：6 月 2 日（土）　参加者：8 名
令和元年度友の会理事会及び定期総会に向けて他
第 3 回　開催日：6 月 23 日（日）　参加者：9 名
会報 108 号の発行に向けて他
第 4 回　開催日：9 月 6 日（金）　参加者：6 名
会報 109 号の発行に向けて他
第 5 回　開催日：10 月 16 日（水）　参加者：8 名
海外巡見の実施に向けて他

第 6 回　開催日：12 月 21 日（土）　参加者：7 名
　会報 110 号の発行に向けて他
第 7 回　開催日：2 月 23 日（日）　参加者：7 名
　会報 111 号の発行に向けて及び今後の会運営について他

15. 会員数（令和 2 年 3 月 31 日現在）

個人会員：845 名
法人会員： 36 社

（６）誘客促進

組踊 300 周年記念　首里城復興祈念公演（沖縄県連携事業）

目的

組踊 300 周年を記念し、開催を予定していた「首里城公演・式典『琉球舞踊と組踊』が首里城火災のため中止となった。今回、代替公演を首里城近辺で開催することにより、首里城焼失に気を落とす県民を慰め、復元に向けた活力をもたらすとともに、当初の目的である県内外への組踊の発信、県民の沖縄文化への誇りや親しみを醸成するために実施する。

開催期間および場所

《期間》　令和２年２月 15 日（土）14 時 00 分～17 時 00 分

《場所》　首里城公園　首里杜館前芝生広場

概要

開催に先立ち、玉城県知事による挨拶ののち、琉球舞踊「老人老女」で幕開けとなり、続く「諸屯（しゅどぅん）」では人間国宝の宮城能鳳氏の舞を披露した。また歌三線には、人間国宝の照喜名朝一氏・西江喜春氏の両氏を迎えるなど、見どころの多い琉球舞踊となった。組踊については、組踊の創始者、玉城朝薫の代表作「執心鐘入」と「二童敵討」を披露し、訪れた観覧者をおおいに魅了した。



実施会場の様子



琉球舞踊



宮城能鳳氏による演舞



組踊「執心鐘入」

（7）行催事

「伝統芸能公演」

目的

琉球王朝時代に首里城で育まれた古典舞踊と戦前に庶民の生活を取り入れ、創作された雑踊りである伝統芸能（琉球舞踊・琉球古典音楽）を披露することにより、当公園の利用促進及び来園者の満足度向上と伝統芸能（琉球舞踊・琉球古典音楽）の育成、普及啓発を図ることを目的とする。

開催期間および場所

《期間》　平成 31 年 4 月 1 日（土）～令和元年 10 月 30 日（水）毎日
　　令和 2 年 2 月 22 日（土）～24 日（月祝）
《場所》　世誇殿内、系図座・用物座

概要

世誇殿内に仮設の舞台を設置し、琉球舞踊（古典音楽・雑踊り）を披露した。首里城火災により、10 月 31 日以降からの「伝統芸能公演」は中止となった。「琉球の華みぐい」期間中の 2 月 22～24 日、場所を系図座・用物座へ移動し実施した。


伝統芸能公演の様子


伝統芸能公演の様子

「三線体験会」

目的

琉球王朝時代に宮廷音楽として演奏されていた琉球古典音楽の代表的な琉球楽器である三線の楽曲演奏や踊りの体験を通して、沖縄の伝統文化に触れてもらい、来園者の利用満足度の向上と利用促進に資することを目的とする。

開催期間および場所

《期間》　平成 31 年 4 月 1 日（土）～令和 2 年 3 月 31 日（火）
《実施日》毎週土・日・祝日開催
《場所》　系図座・用物座

概要

系図座・用物座のスペースを有効活用し、琉球王朝時代に宮廷音楽として演奏されていた琉球古典音楽の代表的な琉球楽器である三線の楽曲演奏や踊りの体験会を実施した。

首里城火災後の影響と新型コロナウィルス感染拡大防止対策のため、10 月から 1 月末及び 2 月後半から 3 月末に実施できない期間があった。



三線体験会の様子
演奏体験



三線体験会の様子
カチャーシー体験

令和元年度 首里城公園「GW 体験イベント」

目的

ゴールデンウィーク期間中、“家族で楽しめる”をキーワードとして、国内外の家族連れをターゲットに普段気づくことの少ないデザインの特徴や伝統工芸などについて学び首里城に対する理解を深める体験イベントを開催することで首里城の魅力や歴史文化について興味を持っていただき、満足度向上と利用促進を図ることを目的とする。

開催期間および場所

《期間》　平成 31 年 4 月 27 日（土）～　令和元年 5 月 6 日（月）
《場所》　首里城公園　国営区域、有料区域、県営区域

概要

龍やシーサーをモチーフにした漆喰絵付け体験や、沖縄の伝統工芸である紅型を学ぶ事ができる紅型コースター染付け体験、琉球舞踊が鑑賞できる伝統芸能公演など、多数のプログラムを実施した。
またオリジナルキャラクター里之子くんとの撮影会や、新年号の「令和」を瓦文字で展示した。

プログラム

タイトル	実施日数	実施場所	参加数
漆喰絵付け体験	5 日間	系図座・用物座	245 人
紅型コースター染付け体験	5 日間	系図座・用物座	229 人
首里城ぬりえ体験	10 日間	二階御殿	1,084 人
ペーパークラフト体験	10 日間	二階御殿	1,069 人
伝統芸能公演	10 日間	世誇殿	8,126 人
ペーパークラフト体験	10 日間	首里杜館情報展示室	1,228 人
GWクイズラリー	10 日間	首里城公園内全域	2,291 人
サンセットガイドツアー	10 日間	首里城公園内全域	93 人
イベント全体合計	10 日間		14,365 人



漆喰絵付け体験



紅型コースター染付け体験



ぬり絵・ペーパークラフト体験



伝統芸能公演



GWクイズラリー



サンセットガイドツアー



里之子くんと記念撮影



新年号「令和」瓦文字展示

首里城公園「夏休みスペシャル」～あそぼう！まなぼう！琉球王国～

目的

体験要素と学習要素の高いプログラムを実施することで、琉球王国が育んだ歴史文化の魅力を、よりわかりやすく、より多くの子供たちに伝えることと、新規メニューを提供することで入館促進及び満足度向上を目的とする。

開催期間および場所

《期間》　令和元年 7 月 20 日(土)　～　9 月 1 日(日)

《場所》　首里城公園　国営区域、有料区域、県営区域

概要

新規メニューとして実施した「ちんすこうづくり」は特にお客様の関心が高く、超える人気イベントとなった。ミステリーナイトツアーin 首里城は去年の反省も踏まえ、開催日数を増やすことによって同ツアー参加希望者への対応に努めた。ペーパークラフトについては、今回、組踊 300 周年記念企画展と連携した取組みとして、新に「二童敵討(阿麻和利)」「執心鐘入(鬼)」のお面を制作し、バリエーション豊富なペーパークラフト体験となった。

プログラム

タ イ ト ル	実施日数	実施場所	参加数
オリジナルちょうちんづくり体験	7 日間	二階御殿	200 人
琉球の伝統菓子「ちんすこう」を作ろう	3 日間	系図座・用物座	145 人
漆喰絵付け体験	4 日間	系図座・用物座	245 人
ミステリーナイトツアーｉｎ首里城	12 日間	首里城公園全域	354 人
サンセットガイドツアー	30 日間	下之御庭～有料区域	373 人
親子で楽しむ「沖縄紙芝居」	4 日間	世誇殿	763 人
ペーパークラフトで琉球王国を体験しよう	44 日間	首里杜館地下 1 階 ビジターロビー	5,531 人
首里城公園夏休みクイズラリー	44 日間	首里城公園全域	14,230 人
イベント全体合計	44 日間		21,841 人



オリジナルちょうちんづくり



琉球の伝統菓子「ちんすこう」作り



漆喰絵付け体験



ミステリーナイトツアーin 首里城



サンセットガイドツアー



親子で楽しむ「沖縄紙芝居」



ペーパークラフト体験



首里城公園夏休みクイズラリー

令和元年度　首里城公園「中秋の宴」

目的

琉球王国時代に行われた冊封七宴の一つである「中秋の宴」を再現するとともに、琉球舞踊、組踊等の伝統芸能を披露することにより、伝統文化の継承・発展を図り、首里城を通して、沖縄の歴史・文化の素晴らしさを県内外に発信することを目的とする。

開催期間および場所

《期間》　令和元年 9 月 14 日（土)、15 日（日）
《場所》　御庭、木曳門～西のアザナ（提灯）

概要

「中秋の宴」として初の有料化（座席券 1,000 円、立見券 500 円）を取り組んだ。初日は予定通り開演し、琉球舞踊、人間国宝の独唱・演奏と舞踊、組踊の演目もスケジュールどおり実施した。9 月 15 日（日）は、朝から降雨で雷・大雨注意報等による悪天候が予想されたため、中止を決定し、ＮＲ、ＨＰ、ＦＢ、園内看板、館内放送で中止告知を行った。

首里城正殿御庭で予定していた、首里城祭国王・王妃選出大会は、近隣のホテルにて実施した。

入場者数　1,610 名（内訳 9/14：1,610 名、9/15：悪天候のため中止）

プログラム

(1)9 月 14 日（土）
①琉球舞踊（古典）第一部
②人間国宝の演奏と舞踊
・照喜名朝一、城間徳太郎、西江喜春氏、比嘉聰、宮城能鳳氏
③組踊「女物狂（うんなむぬぐるい)」
④琉球舞踊（古典）第二部
(2)9 月 15 日（日）（中止）
①琉球舞踊（古典）第一部
②組踊「二童敵打（にどうてぃちうち)」
③首里城祭「国王・王妃公開選出大会」（主催：首里城祭実行委員会）
④琉球舞踊（古典）第二部

※③は雨天により別会場(ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城)にて実施



会場の様子と琉球舞踊



人間国宝独唱



人間国宝による演舞



組踊（女物狂）



首里城祭国王・王妃選出大会



新国王・王妃のお披露目

令和元年度「首里城祭」

目的

琉球王朝文化の集大成として、日本を代表する「城郭まつり」を目指した特色ある首里城郭イベントによって、琉球王朝文化の振興を図ると共に、本県の観光に寄与することを目的とする。

開催期間および場所

《期間》　令和元年 10 月 27 日（日）　～11 月 3 日（日）

※10 月 31 日未明の首里城正殿等火災のため、10 月 31 日以降は中止した。

《場所》　首里城公園及び国際通り

概要

国際通りで行われる「琉球王朝絵巻行列」は天候にも恵まれ問題なく実施することが出来たが、10 月 31 日（木）未明の首里城正殿等の火災により、イベントプログラムの一部またはすべてが中止となった。

主な中止プログラムは下記のとおり
①万国津梁の灯火(11/2.3)
②琉球王朝祭り首里「古式行列」(11/3)
③組踊上演 300 周年記念公演・式典「琉球舞踊と組踊」(11/2.3)
④琉球泡盛の粋 in 銭蔵(11/1～3)
⑤国王・王妃出御(11/1)
⑥伝統芸能特別公演(10/31～11/3)
⑦組踊まちがい探し(10/31～11/3)
⑧組踊ペーパークラフト(10/31～11/3)

観覧者数

日付	イベント名	観覧者数
10/27	琉球王朝絵巻行列	27,000 名（前年度 37,000 名　前年度対比 72.9%）
10/27～10/31	伝統芸能特別公演	1,945 名(10/27：607 名、10/28：487 名、10/29：408 名、10/30：443 名、10/31～11/3：火災のため中止)
10/27～10/31	組踊まちがい探し・組踊ペーパークラフト	607 名(10/31～11/3：火災のため中止) ※新規イベント



琉球王朝絵巻行列（国王）



琉球王朝絵巻行列（三線）



琉球王朝絵巻行列（四つ竹）



琉球王朝絵巻行列（棒術）

令和元年度「新春の宴」

目的

琉球王国時代に行われた琉球舞踊や古典音楽演奏の披露やお茶などの振る舞いを行うことで、沖縄らしいお正月の雰囲気を来園者に感じていただく。また利用者からのイベント実施の要望に応えるとともに、今後の首里城復興の機運を高めるためのイベントとすることを目的とする。

実施期間および場所

《期間》　令和２年１月１日（水）～1 月 3 日（金）
《場所》　首里城公園

概要

御庭での「朝拝御規式」は火災の影響により開催できなかったが、国王・王妃登場や泡盛試飲、新春特別解説会、旗頭の演舞、首里城メッセージボードなど新規プログラムを追加し、満足度の向上を図った。また御座楽演奏や「琉球芸能の宴」と題した琉球舞踊・古典音楽演奏ステージなどを行った。

イベント

イベント名	実施場所
国王・王妃出御	奉神門～下之御庭
御座楽演奏	系図座・用物座
琉球芸能の宴	系図座・用物座
泡盛試飲	銭蔵
お茶・甘酒の振る舞い	首里杜館前芝生広場
旗頭の演舞	首里杜館前芝生広場
新春特別解説会	首里杜館情報展示室
里之子くん登場	首里杜館前芝生広場・守礼門
首里城メッセージボード	首里杜館ビジターロビー

・首里城メッセージボードは、県民のみならず県外や海外の方からも多くの応援メッセージをいただくことができた。
・利用者からのイベント実施の要望に応えるとともに、今後の首里城復興の機運を高めることに貢献できたと思われる。



国王・王妃登場①



国王・王妃登場②



琉球芸能の宴



御座楽演奏



お茶・甘酒振る舞い



泡盛試飲



新春特別解説会



旗頭の演舞



首里城メッセージボード



里之子くん登場

令和元年度「琉球の華みぐい」

目的

美しい花々で沖縄を訪れたお客様を歓迎する「沖縄花のカーニバル 2020」の開催に併せて、海洋博公園の「美ら海花まつり」及び「沖縄国際洋蘭博覧会」に続き、首里城公園においても園内の草花装飾を実施し、花をテーマにした「伝統芸能公演」を連携イベントとすることで、公園利用促進及び来園者の満足度向上を図る。

開催期間および場所

《期間》　令和２年２月 21 日（土）～3 月 8 日（日）
《場所》　歓会門内側～瑞泉門階段下、首里杜館

概要

園内装飾についてはブーゲンビレアやベゴニアなどの草花を用いて首里城ならではのフォトスポットを設置し、来園者からも大変好評であった。「伝統芸能公演」は花に関連した演目を披露し、来園者を華やかにお迎えしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、予定よりも開催期間を短縮しての実施となった。



園内草花装飾（歓会門付近）



「伝統芸能公演」

首里城公園事業年報　第１号　　令和２年３月　作成

発行所　一般財団法人　沖縄美ら島財団

沖縄県那覇市首里金城町１丁目２番地

電話　098-886-2020（代）

編集兼発行人　花城 良廣



一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation